

長崎慰霊の日にヒバクシャ国際署名コーナーで46名が署名

8/9「長崎原爆犠牲者慰霊の会」(広島平和文化センター主催にて)



(前列左から2人目より) 県生協連岡村会長、県被団協箕牧代表理事、県被団協佐久間理事長、平和文化センター小溝理事長

8月9日(木)の10:50から11:55まで、広島平和記念資料館東館地下で「長崎原爆犠牲者慰霊の会」が開催されました。

広島平和文化センターの小溝理事長が主催者挨拶をされ、被爆者の思いを若い世代が引き継いでいくこと、広島でヒバクシャ国際署名連絡会が発足した

意義についても触れられました。主催者挨拶の小溝理事長が被爆者を代表して広島県被団協の佐久間理事長がメッセージを述べた後、長崎の平和祈念式典のテレビ中継により11時2分から参加者全員で黙とうを捧げました。長崎での被爆者の22分間のビデオ証言を全員で観て閉会しました。

広島平和文化センターの提案で、会場の一角に「ヒバクシャ国際署名コーナー」を設置しました。資料館を訪れた県外や国外からの来館者が多数立ち寄り、次々に署名をしていきました。「慰霊の会」にはテレビ、新聞の取材が何社も来ており、署名中の模様をカメラに収めていました。1時間半程の署名コーナー設置でしたが、46名に署名をして頂きました。



2018/8/9

ヒバクシャ国際署名
広島県推進連絡会

事務局

TEL) 082-532-1300

(広島県生協連)